



日本フルハーブ株式会社 段

自相検第 304号
平成20年 1月28日
自動車検査独立行政法
関東検査部 相模事務所



改造概要等説明書(改造自動車審査結果通知書)

- 【指示事項】 1.本改造は車台番号DFFDF241A-72083、72084の2台限りとする。
2.けん引装置はイヌゞ KL-EXD52GS (第5輪9.8ト)
ニッサンディーゼル ADC-QK4XAE (第5輪9.5ト)
ボルボ不明(YV2A4CFA02A5S1002) (第5輪9.5ト)
ボルボ-F2TCA1-(YV2ABB0A47A630911) (第5輪9.5ト)
ボルボ-F2TCA1-(YV2ABB0A87A630832) (第5輪9.5ト)で検討した。

主要諸元比較表

項目	標準車	改造車	基準	項目	標準車	改造車	基準	
車名	フルハーブ	フルハーブ		乗車定員	人	人		
型式	DFFDF241A	DFFDF241A改		最大積載量	kg	22900 / 17400 (6500)		
自動車の種類	普通	普通		前軸積載	kg	9285 / 9355 (5820)	≦ 10	
用途	貨物	貨物		前乗積載	kg	—	≦ 10	
車体の形状	セミトレー	パンセミレー		後前積載	kg	9340 / 8280	≦ 10	
燃料の種類	—	—		後後積載	kg	9335 / 8275 (9200)	≦ 10	
原動機型式	—	—		計	kg	27910 / 25920 (15020)		
軸径	—	—		最大安定	右	*1 49	≧ 43	
長さ	m	12.575 / [11.990]	13.650 / [11.990]	傾斜角度	左	*1 49	≧ 44	
幅	m	2.490	2.495	≦ 2.5m				
高さ	m	1.420	3.750	≦ 3.8m				
軸距	m	8.119(1.399+1.699)	7.410(1.340+6.360)					
前軸		—	—					
後軸		1.820	1.820					
室内又は荷台の内寸法	長さ	m	12.440	13.220				
幅	m	2.470	2.385					
高さ	m	—	2.585					
水筒容量	リットル	1230	[2560] 2990	最大積載積載割合	%	—	≧ 18.2%	
前軸積載	kg	—	—	リア・オーバーハング	m	2.440	2.560	
後前積載	kg	1890	[2980]				≦ 1/4	
後後積載	kg	1890	[2980] 5530	荷台オフセット	m	3.100	3.980 (4.070)	
計	kg	5010	8520	最小回転半径	m	—	*2 10.7 (11.0)	≦ 12m

能力強度等検討書

制動能力	降力	N	km/h	車軸強度	σB/σ	490 / 136.2 = 3.59	> 1.6
	空気	km		車軸強度	σB/σ	/	= > 1.6
				原動機強度	σB/σ	/	= > 1.6
推進	回転数	Nr/N	/	後前積載強度	σB/σ	1373 / 970.1 × 1.8 = 2.81	> 1.6
	軸径	σB/r	/	前軸積載強度	σB/σ	/	= > 1.6
				運轉容量強度	σB/σ	/	= > 1.6

注1. 能力検討は、該当しかなものは、省略したものを×を記入すること。
注2. 長さの [] 内は、運轉部中心より車軸位置までの長さを示す。
注3. 長さ() 内は、イヌゞ KL-EXD52GS、*2は、イヌゞ KL-EXD52GS、*3は、イヌゞ KL-EXD52GS との差を併せて示す。
注4. () 内は、後前軸上昇時における計算上の値を示す。
注5. () 内は、原則的積載部地下降を最大時の値を示す。

改造等の概要

目的	荷物の重に応じて車輪(後前軸)を降下させるため、緩衝装置をばねより、昇降装置用の空気ばねに変更する。 荷重配分調整のため軸距間の車軸長さを変更する。
車体及び車体	軸距間の車軸、断面高さ510mmの部分の長さ寸法を4485mmより4285mmに変更する。 荷台後部部のフレーム、断面高さ 716mmの部分 を 926mmに変更し、 段差を250mmより 406mmに変更する。
原動機	
動力伝達装置	
走行装置	
操舵装置	
制動装置	
緩衝装置	4枚アーマー・スプリングよりスイング・A式空気ばね(φ 380×246)に変更する。
運轉装置	
燃料装置	

注 変更のない事項については、斜線で記入すること。

フルーフ DFPDF241A改型セミトレーラ 外観図

